



挨拶

校長 五十嵐 圭一



*校庭の藤棚からソニックシティ方面を望む

新年度がスタートして早いものでもう1ヶ月が過ぎました。さくら並木通りの桜の花びらも散り、草木の若葉が一段と鮮やかになって、まさに、

あらたふと青葉若葉の日の光（芭蕉）

の季節になりました。

保護者の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

4月21日（金）の全校授業参観・学級懇談会には、多数ご参会いただきありがとうございました。様々な行事等が矢継ぎ早に行われたあわただしい4月でしたが、生徒たちは新しいクラスにも馴染み、落ち着いて授業や部活動等に取り組んでおります。

さて、先日、本校を訪れたお客様から「桜木中の生徒は、よく挨拶ができていますね。とても嬉しかったです。」とのお話をいただきました。挨拶はとても不思議なもので、全然知らない間柄でも、言葉（日本語）の通じない相手でも、その心を開かせる大きな力をもっています。知らない土地に出かけた旅先などで、「おはようございます」「こんにちは」等の挨拶をするとどんな人も、にっこりと顔をほころばせて挨拶をしてくれます。これは、意思伝達機能としての言葉が、その意味を離れ、言葉を交わすことによってお互いの人間関係を円滑にする、いわば潤滑油のような働きをするからです。挨拶は社会人としての基本的なマナーであるとともに、「相手に親近感を抱くことができる。さわやかな気持ちになれる。」など生活全体に潤いを与えるといった効果もあります。

ゴールデンウィークも後半を迎えます。図書館だより「School Library」でもお知らせしましたが、4月23日～5月12日は、こどもの読書週間です。ゴールデンウィークは読書に親しむよい機会でもあります。連休後半を上手に活用して体調を整え、元気に5月を過ごせるようにして欲しいと願います。